

やまがたの木々林

2025年版

— 森林とわたしたちとのかかわり —



令和6年度置賜地域緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
小学校の部 最優秀賞
長井市立長井小学校 2年 神戸國光「きれいなみどり」

森は、先人からの贈りものであると同時に、未来の世代からのあずかりものです。
このすばらしい宝物を未来につなぐために、わたしたちは、森からの恵みを受けるだけでなく、森と人とのかかわりを考え、森を守っていくことが大切です。

山形県では、美しい豊かな森林や自然を県民共有の財産としてとらえ、未来の子ども達に引き継ぐために、平成19年4月に「やまがた緑環境税」の仕組みをつくり、県民みんなで支える新たな森づくりを進めています。下のシンボルマークと憲章は、やまがた緑環境税の考え方をわかりやすく伝えていくために制定したものです。

県民みんなで支える森づくり

やまがた緑環境税

やまがた緑環境憲章

— 県民みんなで支える新たな森づくり —

わたしたちは、

- 1 暮らしや環境を守るため、豊かな森づくりを進めます。
- 2 森や木の文化を見つめ直し、暮らしの中に木を活かします。
- 3 一人ひとりの力を活かし、森づくりの輪を広げます。
- 4 森や自然の大切さを学び、森との絆を深めます。
- 5 みんなで森づくりを支え、かけがえのない森を未来に贈ります。

やまがたの森林

— 森林とわたしたちとのかかわり —

[編集・事務局]
山形県環境エネルギー部みどり自然課 (TEL 023-630-2207)

この冊子は「やまがた緑環境税」を活用しています。

日本の森林 P1	天然林(ブナ) P11
山形県の森林 P2	森林の機能と役割 P13
人工林(スギ) P3	カーボンニュートラル P15
樹木が木材になるまで P5	森林がかかえる課題 P16
木を切り出す道具 P6	森林を守り育てる P17
人工林(クロマツ) P7	各地域の森林の紹介 P19
天然林(里山・奥山) P9		

県民みんなで支える森づくり

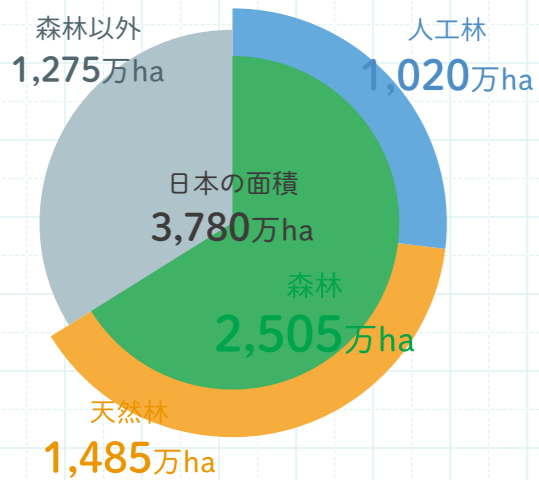
やまがた緑環境税

山形県

日本の森林

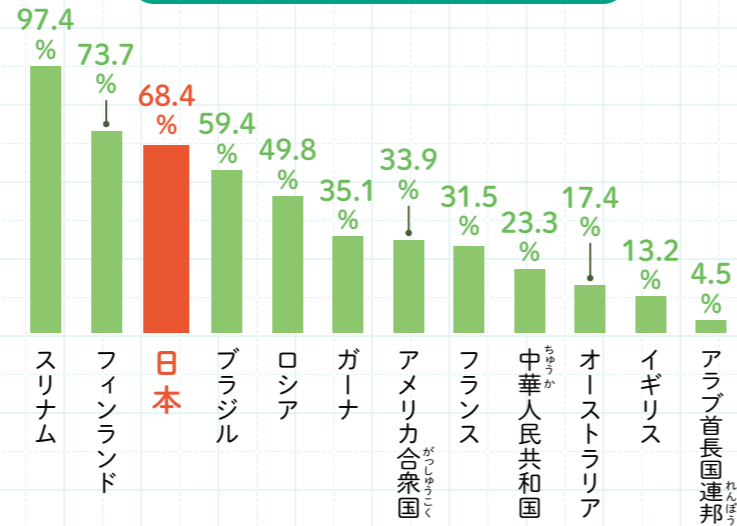
日本の国土は約3分の2が森林であり、世界の主な国と比べても高い割合で森林に恵まれている国です。

日本の森林の面積



資料：林野庁「森林資源の現況」

世界の主な国の森林の割合



資料：FAO「世界森林資源評価2020」

日本列島は南北に長く、地方によって気候が違います。さらに、海辺のような平坦な場所もあれば、険しく高い山もあり、地形の種類が豊富です。このような環境の違う場所に対応して、日本にはさまざまな種類の天然の森林があります。



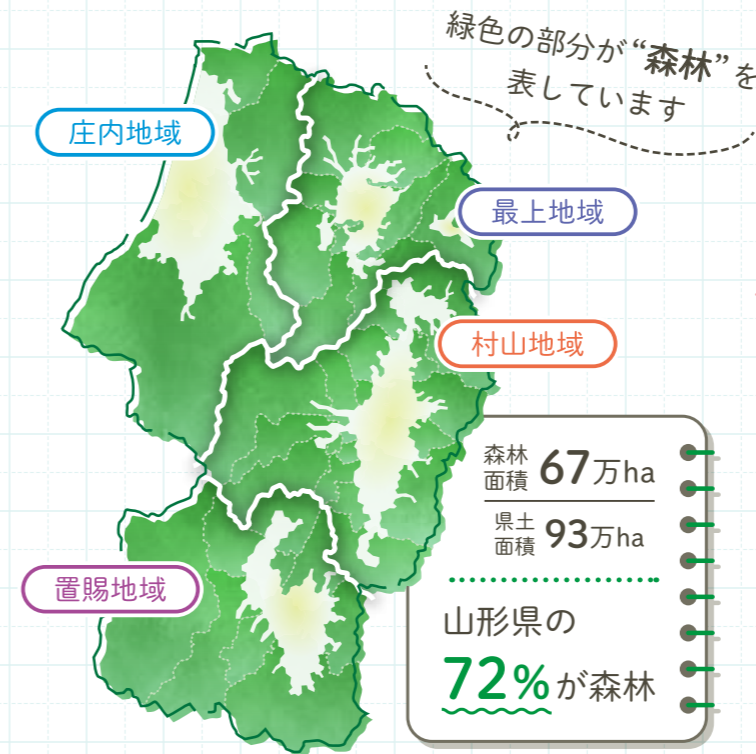
山形県の森林

わたしたちの住む山形県は、面積の約4分の3が森林で、落葉広葉樹が中心となる気候に属しています。

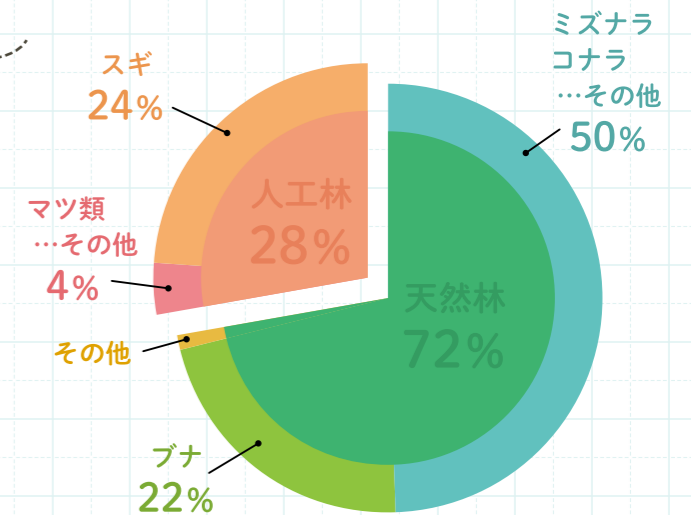
森林は大きく分けて、人が植えて育ててきたスギなどの「人工林」と、自然の力によって発芽し、森林になった「天然林」があります。天然林のうち、ブナの天然林の面積は日本一です。

それぞれの森林が人々のくらしや生活環境と大きくかかわってきています。

山形県のすがた



山形県の森林の種類



資料：山形県林業統計・2000年世界農業センサス

山形県の森林についてまとめよう！

山形県には、()と()という森林が広がっている。

山形県は、県土面積の()%が森林である。

山形県の森林のうち、「人工林」の割合は()%、

「天然林」の割合は()%である。

人工林 — スギ —

山形県の人工林は、86%がスギ林です。スギは柔らかいので加工しやすく、まっすぐに成長するので、主に建築用材として利用されます。建築用にならない部分は、ストーブや発電用の燃料としても利用されています。

地域にあるスギ林について考えよう！

- ・スギはどんな特徴があるかな？
- ・スギ林を手入れしている人をさがしてみよう。
- ・スギを育てている人はどのような工夫や努力をしているのだろう。
- ・収穫するまでに何年くらいかかるのだろう。

スギの木と葉

かんばつ 間伐



木を大きく成長させるために木の本数を減らし、木と木の間に適度な間隔をつくります。

しゅぼつ 主伐



木を利用するために、切って山から運び出します。

じよぼつ 除伐



植えた木の成長をさまたげる雑木や成長や形の悪い木を切ります。

したか 下刈り

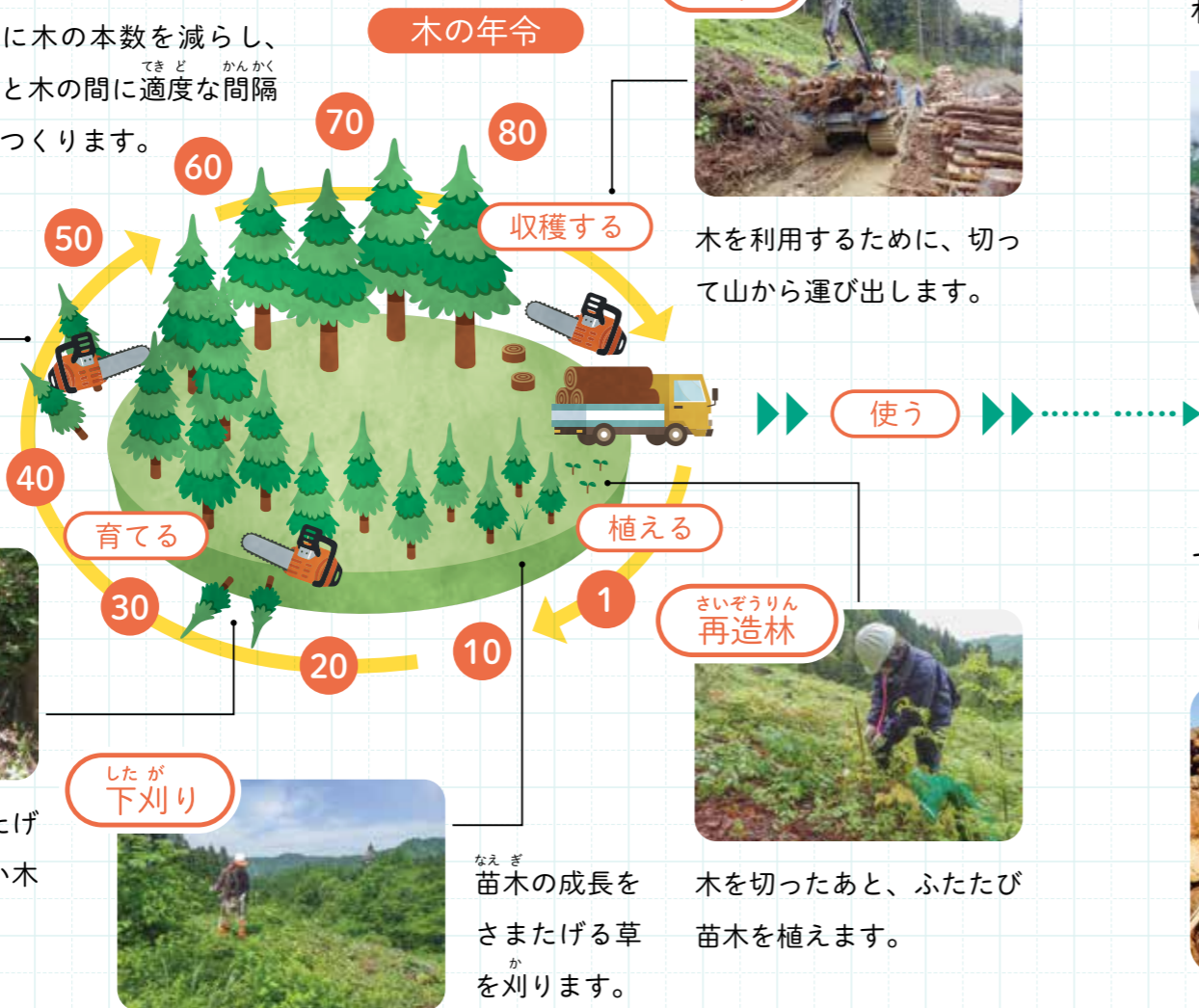


苗木の成長をさまたげる草を刈ります。

さいぞうりん 再造林



木を切ったあと、ふたたび苗木を植えます。



地域でスギを材料に使った建物をさがしてみよう！



スギを使った図書館(高島町立図書館)

病気で枯れた木や、形の悪い木などを燃やした熱などで電気をつくることを「木質バイオマス発電」といいます。

「木質バイオマス発電」で電気をつくる発電所が増えてきたことから、これまで使えなかった木材に新しい用途ができました。



病気で枯れた木や形の悪い木



バイオマス発電所

昔から、木をまきにして、暖房や調理などに使っていましたが、火をつけたり消したりするのがたいへんでした。最近では、機械で小さく砕いた木質チップ、さらに細かく粉状にしたものを粒状に固めた木質ペレットがバイオマス燃料として注目されています。



木質チップ



木質ペレット



ペレットを燃やして暖めるストーブ

せいざい こうてい じゅもく 製材工程 ~樹木が木材になるまで~



せり

山で切られた木（原木）は市場に集められ、「せり」にかけ売られます。

原木のせりには、製材所などの人たちが集まって、それぞれに買いたい木を選んで値段を付けていきます。

一番高い値段を付けた人に買われます。



皮むき

機械を使って丸太の皮をおきます。
樹種や木材の利用方法によっては手作業で行われることもあります。



加工

丸太を角材や板材に加工します。



出荷

トラックなどで運び、出荷します。



かんそう
乾燥

木材をさまざまな場所で利用するために、しっかり乾燥させます。乾燥には、機械による乾燥と自然に乾燥させる方法があります。

山で働く ~木を切り出す道具~



チェーンソー



プロセッサ

木の枝を取り除き、幹を一定の長さに切断する機械



フォワーダ

切った木をつかんで積み込み、運ぶ車両

昔使われていた
いろいろな
「のこぎり」



林業はたいへんで危険な仕事であるため、木を切ったり運ぶことができる、高性能な機械が使われるようになりました。

木材の良いところをさがしてみよう！

木材には優れた特徴がいろいろあります。みなさんのまわりにある木製品をさがし、良いところをさがしてみよう。

例：良い匂いがする。色が落ち着く。軽い。

知ってる？『年輪』

切り株の表面にあるたくさんの円は「年輪」といい、年輪の数を数えると木が何年生きているのかが分かります。

ドイツのおかし「バウムクーヘン」は日本語にすると「木のケーキ」となり、木の年輪ととてもよく似ています。





クロマツの木と葉

人工林 — クロマツ —

空から見た庄内砂丘です。濃い緑色の部分がクロマツ林です。このクロマツはすべて人が植えたものです。約300年前、ここは草木のない砂山でした。そこから、人々は苦勞してクロマツを植え続けてきました。

昔、庄内砂丘は、自然の森林におおわれていたといわれていますが、戦国時代、その森林が失われ、砂漠のようになりました。強風に舞い上がる砂は、田畑や川を埋め、洪水もひんぱんにおきました。苦しんだ人々は、きびしい自然にいどみ、長い年月をかけて植林を続け、今では南北に約33km、面積では2,500haもの美しいクロマツ林となりました。

クロマツは、栄養の少ない土や、潮風、強風に耐性があることから、砂丘に植える樹木として適しています。

クロマツ林は風下側で風を和らげる効果があり、潮風と飛砂から人々の生活と、日本有数の米の産地である庄内平野を守っています。



曾根原六蔵 西浜植付之図

(酒田市立資料館蔵)

遊佐の西浜での植林の様子 (江戸時代)



1960年5月23日 山形新聞

家の中で傘をさしての食事の様子

1960年頃の庄内砂丘の風景



砂運び (酒田市)

(浜中民具資料館蔵)

砂で埋まった家を総出で掘り、砂箱を背負い浜に運ぶ



砂丘の植林 (遊佐町)

(庄内森林管理署蔵)

広大な砂丘にクロマツが1本1本植えられた

庄内砂丘のクロマツ林について調べよう！

- ・クロマツ林になる前は、庄内砂丘はどんな場所だったのだろう。
- ・なぜ、クロマツを植えなければならなかったのだろう。
- ・クロマツを植えたリーダーの人を調べてみよう。
- ・クロマツ林は地域にとって、どのような存在なのだろう。

天然林 — 里山・奥山 —

山形県の森林のうち、約7割が天然林です。天然林は、樹木の種が自然に芽生え、育った森林のことです。人工林との違いは、切ったあと、人が植えなくとも自然に木が生え、もとの林に戻るところです。



ミズナラ・コナラを主体とする森林



ブナを主体とする森林



天然林は古くから人の生活になくってはならない森林でした。なぜなら、石油やガスなどの化石燃料を利用するより以前は、この森林から採ってきた木材をまきや炭などの燃料として利用したからです。その他にも、きのこ生産のための「ほだ木」や、肥料として落ち葉などを利用して生活してきました。

人里に近い森林は、生活と強く結びついた山という意味で「里山」とよばれています。「里」から遠い山奥の森林は「奥山」とよばれています。

知ってる？『あがりこ』

ブナやナラなどの木を切ると、その切り株から新しい芽が出て新たな幹になります。雪国では積もった雪の上で切ることがあり、高い切り株が残ります。このため、写真のようなおもしろい形となり、これが「あがりこ」とよばれています。



ブナのあがりこ(大蔵村)

コナラやミズナラは、切り株から再び芽が出てくるため成長が早く、短いサイクルで木を切って使うことができるため、木炭を作る材料として適しています。

木炭には、燃料としての使い方の他に、水をきれいにしたり、土を良くしたり、匂いや湿気を取る使い方もあります。



炭の窯出し作業

炭の違いについて調べてみよう！

炭には「黒炭」と「白炭」があります。違いは何なのか調べてみよう。



黒炭



白炭

山形県には、さまざまな広葉樹種の個性をいかした優れた伝統工芸品がたくさんあります。



みなさんの地域にある伝統工芸品をみつけよう！

伝統工芸品の名前：

使っている木の種類：



ブナの種



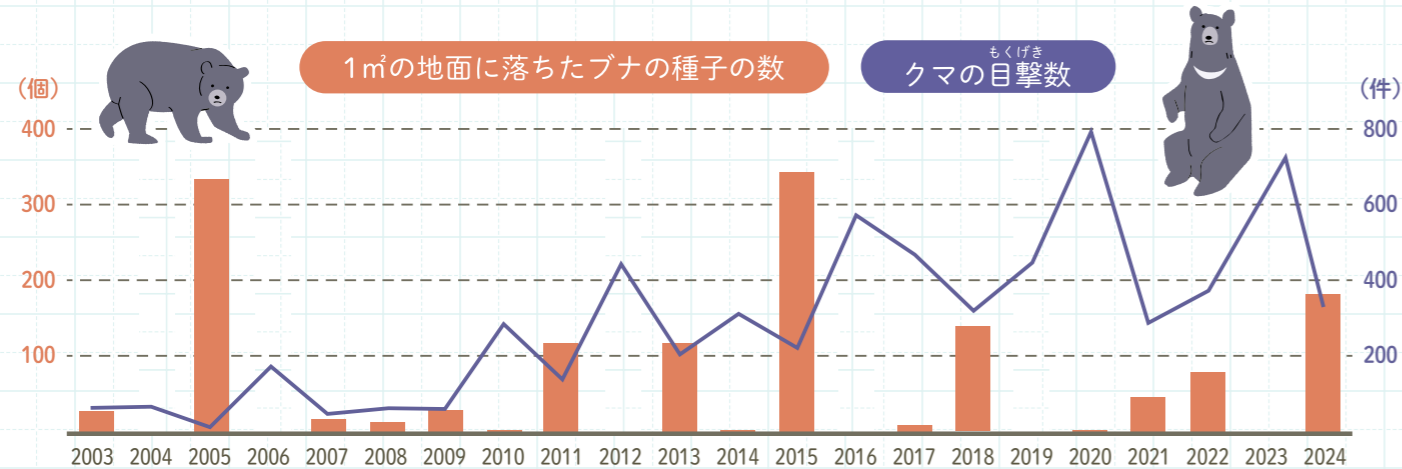
天然林 — ブナ —

山形県のブナ林の面積は約15万haで、県の森林面積の5分の1を占めており、日本一の広さです。ブナは木の肌が白く美しいため、ブナ林はトレッキングコースとして人気があり、訪れる多くの観光客のいやしの森としても親しまれています。

ブナの種は、渋味がなくクリのようにそのまま食べられます。

栄養が豊富な種は森で暮らす動物の大事な食料となります。実り具合は、クマの子育てや行動に影響を与えているといわれています。

グラフを見て、気づいたことはあるかな？



資料：山形県環境科学研究センター

食べたことがあるきのこに○をつけよう



原木ナメコ【 】



マイタケ【 】



シイタケ【 】



エノキタケ【 】



菌床ナメコ【 】

ちいきと地域で採れたきのこを食べたことがあるかな？
きのこの名前：

山形県はきのこの生産量が東北で1位、全国でもベスト10に入るきのこ生産県です。ブナやナラ類の樹木は、きのこを育てるための良質なおが粉として使われます。

食べたことがある山菜に○をつけよう



ウルイ【 】



ワラビ【 】



タラノメ【 】



ネマガリタケ【 】



フキノトウ【 】

他に知っている山菜はあるかな？
山菜の名前：

山菜も多くの種類があり、ワラビの生産量は全国で1位です。多くの山菜は、落葉広葉樹林である天然林で多く採れます。天然林は、森林からの恵みを活かした豊かな食文化を支えています。

資料：令和3年特用林産基礎資料

森林の機能と役割

これまでの学習をふり返り、森林にはどのような働きがあるのか整理してみよう！

空気をきれいにする

森林は、地球温暖化の原因となっている空気中の二酸化炭素を取り込み、酸素を出す働きがあります。

森林を守ることは、地球温暖化の防止に役立つことにつながります。

災害を防ぐ

森林は、山くずれやなだれを防ぐ働きがあります。

また、潮風や飛砂を防ぎ、強い風や吹雪などから、田畑や家を守っています。

木材を生産する

森林から、わたしたちの生活で使う木材が切り出されています。

木材に多く使われるスギは、植林したあと、およそ50年以上になると、伐採して利用することができます。

生き物を育む

森林には、木だけでなく、いろいろな種類の植物や昆虫、鳥、獣などさまざまな生き物が生息しています。

それぞれの生き物が森林の生態系の中で、重要な役割を担っています。



ニホンカモシカ



チョウセンアカシジミ

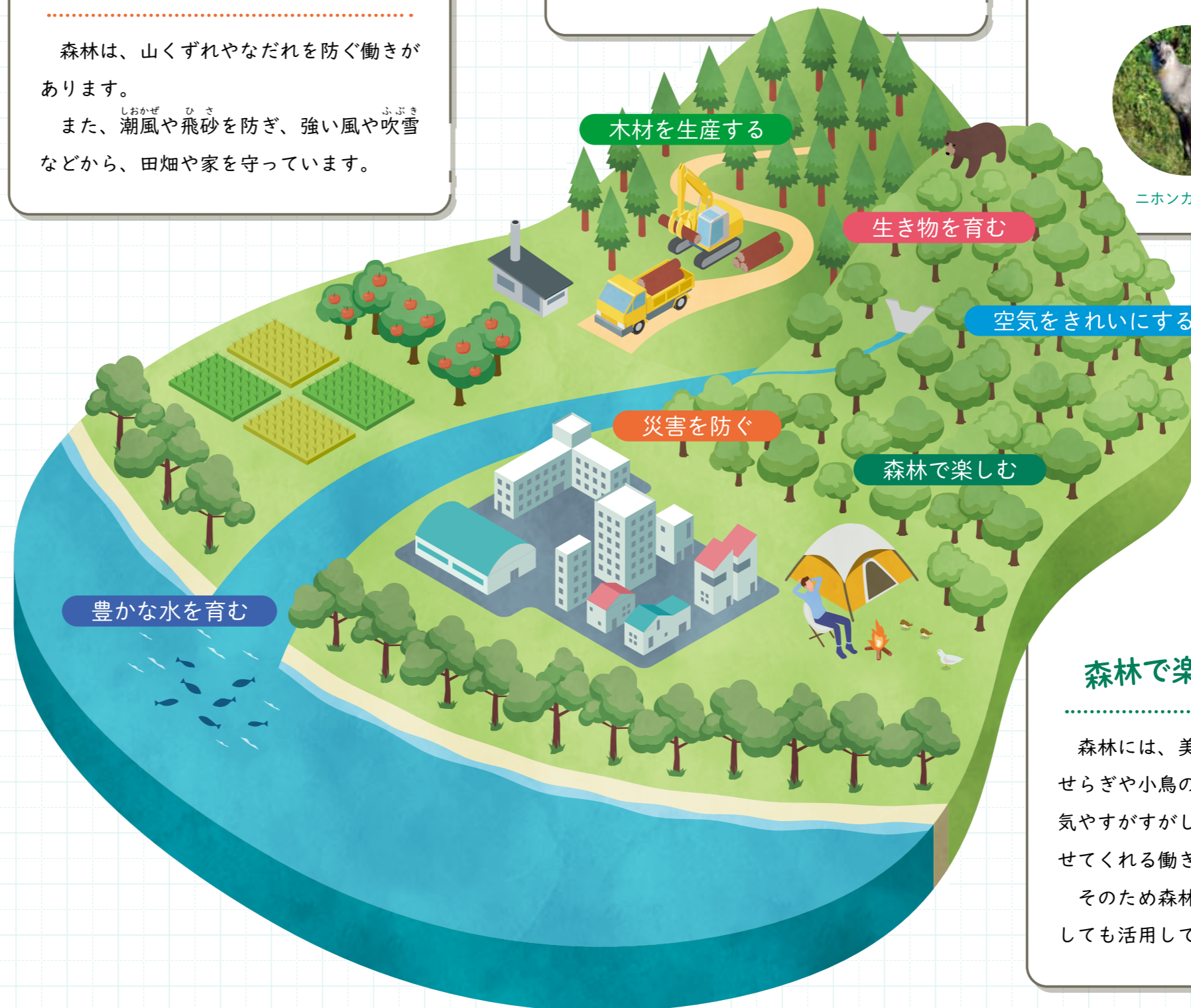
豊かな水を育みたくわえる

森林は、降った雨水や雪どけ水をたくわえ、ゆっくりと川に流したり、水をきれいにする働きがあります。

山形県の母なる川「最上川」をはじめ、豊かな水を守り育てて海に注いでいます。



最上川



トレッキング

森林で楽しむ

森林には、美しい景観をはじめ、川のせせらぎや小鳥のさえずりの音、おいしい空気やすがすがしい香りなど、快適に感じさせてくれる働きがあります。

そのため森林を、休養、レジャーの場としても活用しています。

トピック カーボンニュートラル

「カーボンニュートラル」とは、大気中に排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの量から、森林などが吸収する二酸化炭素などの温室効果ガスの量を差し引いて、全体で実質ゼロにすることです。「カーボンニュートラル」の「カーボン」は、二酸化炭素（CO₂）の炭素（Carbon）の意味です。

山形県の取り組み

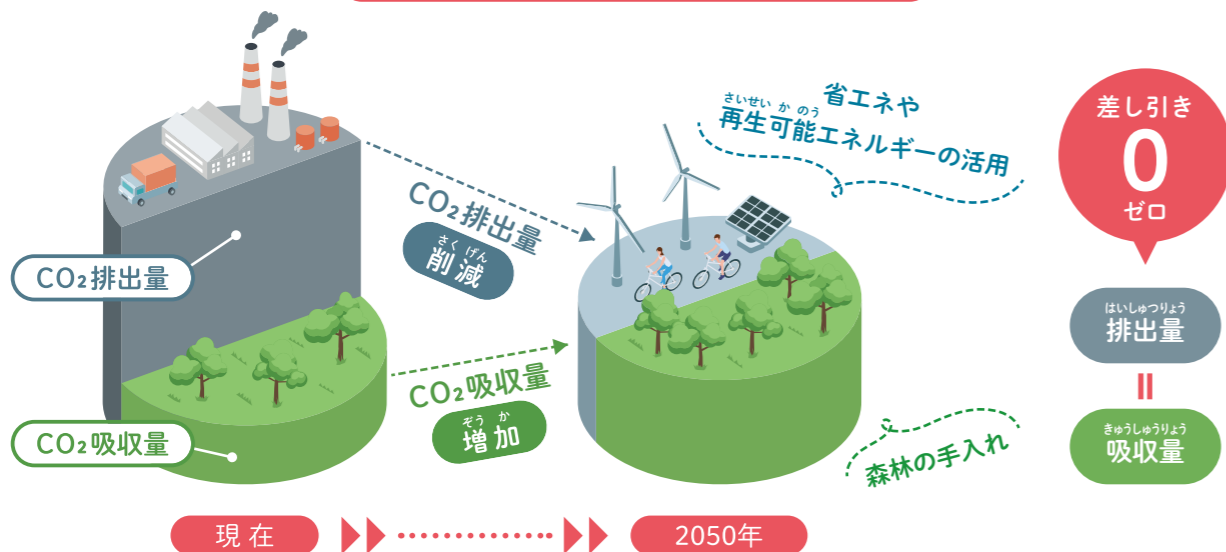
山形県では、2050（令和32）年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を令和2年8月に宣言しました。また、令和5年3月には「山形県脱炭素社会づくり条例」を制定し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて県や県民などが果たしていくべき役割を示しました。



森林の大切さ

森林の成長を促すことは、より多くの二酸化炭素を吸収することにもつながるので、地球温暖化防止対策の一つとしても、森林は大切な存在です。二酸化炭素を適切に吸収するのは、管理されて手入れが行き届いた森林と、収穫したあとに再び植えられた森林とされています。

カーボンニュートラルのイメージ



.....森林がかかえる課題.....

人々の生活が便利になった1960年代から、燃料がまきや炭から石油・ガス・電気に変わり、まきや炭を生産してきた森林は利用されなくなりました。また、外国から安い木材が大量に輸入されるようになったため、国内産の木材を使う機会が減り、伐採が進まなくなりました。さらに、森林周辺の地域から、生活が便利な都市部へ移り住む人が増えたことにより、森林を手入れする人が減ってしまいました。



健全なクロマツ林



松くい虫の被害を受けたクロマツ林



手入れの行き届いたスギ林



手入れ不足で雪折れしたスギ林

林業や森林の問題点について考えよう！

- ・地域にいるおじいちゃん、おばあちゃんが小さかった頃の生活について聞いてみよう。
- ・森林の手入れをしないと起きる問題について調べてみよう。

森林を守り育てる ～わたしたちができること～

「森林を守る」というのは、何もせず見守ることではありません。山形県の森林は、山形県に住むわたしたちが利用することにより健康な姿を保ってきました。木を切って使うことが、新たな木の成長を促すことにつながり、その繰り返しで森林を守ることになるのです。

地域の木材を使う

自分で木を切る機会は少ないかもしれませんが、木製品を購入するときは、輸入品ではなく、日本国産、できれば山形県産の木材が使われた製品を積極的に利用することが大切です。



森づくり活動を行う

里山を自分たちで守るため、ボランティア活動も盛んに行われています。植えた木を大きく育てるためには、長い時間と継続的な手入れが必要です。身近な場所で行われている森づくり活動に参加してみましょう。



森林・林業を知る

—東北農林専門職大学—

この大学は、令和6年4月に開学した、農業・林業に特化して学べる4年制の公立専門職大学です。森林業経営学科では、多くの実習を行いながら、木材生産だけでなく、環境安全にも配慮しながら資源をフル活用する様々な森林ビジネスに必要な知識と実践的な技術を学びます。



—東北農林専門職大学附属農林大学校—

この大学校は、農林業の現場で活躍するために技術・知識を学ぶことができる2年制の専修学校です。林業経営学科では、様々な資格を取得しながら、森づくりの技術や、木材の加工、山菜やきのこなど、森林・林業に関する幅広い知識と実践的な技術を学びます。



卒業生インタビュー



五十嵐 瑠斗さん
(令和2年度卒)

Q どうして農林大学校に進学したのですか？

子どもの頃から自然の中で遊ぶのが大好きで、将来はふるさとの森林を守る仕事をしたいと思うようになりました。林業をするならば、現場で即戦力となれる技術が欲しいと思ったからです。

Q 学校での日々はどうでしたか？

実践的な講義が多く、学んだ技術はそのまま現場で使えるものばかり。良い学びの日々でしたし、同級生の仲間にも恵まれ、みんなそれぞれの現場で活躍しているので、はげみになります。

Q 林業の仕事の魅力はなんですか？

自分が手入れした山がきれいになっていく達成感、どの経験にも代えられません。大きなやりがいを感じています。

村山地域の森林

森林がある市町村	森林面積	森林の割合
7市7町	17万3,000 ha	66%

村山地域は、県内でも人口が多く、里山には「まき」などとして使っていたナラ類などの天然林が多く残っています。

奥山では、東側の蔵王連峰の麓にブナ林や樹氷で有名なオオシラビソの林、水源林として植えられたカラマツの林があります。西側の月山・朝日連峰の麓にはブナ林が広がっています。

また、森林を有効活用した森林公園やキャンプ場なども多く存在します。

西川町のブナ林と水

西川町は、磐梯朝日国立公園の朝日連峰や月山に囲まれ、町の90%が森林です。雪がとも多く、4月にオープンする月山スキー場では、ブナの新緑を見ながら、青空の下で夏スキーを楽しむことができます。周囲の森林からは、山菜やきのこがたくさん採れるため、山菜料理や山菜そばのお店があります。

西川町では、豊かな森林と自然の恵みを活かした月山の湧き水を特産品にしています。

また、町を流れる寒河江川には、寒河江ダムという大きなダムがあります。ここから村山地域の6市6町に水道用水を供給しています。



残雪と新緑のブナ林



月山の夏スキー



蔵王の樹氷

目指せ第二の森づくり～市街地で展開される木材利用～

村山地域には、県内の約50%の人が暮らしていて、住宅や店舗、会社などたくさんの建物に囲まれています。その建物に、意外と木が使われているのはご存じですか？

村山地域は、豊かな森林資源と、そこから生まれた木材を暮らしの中で利用していく、循環利用ができる地域なのです。

地域の人々の集いの場所に木材を利用しています。



©Kaho Fuse/Strobelight
さくらんぼ子どもキャンパス
CLAAPIN SAGAE
クラッピンサガエ



©山形県総合文化芸術館
やまぎん県民ホール

村山地域で産出されたスギ材をふんだんに使っています。



山形駅西口



寒河江市立なか保育所

身近な場所を木造に、触れる物を木製に…
目指すは第二の森づくり
「木」にしたい場所、物をイメージしてみよう！

県民の森（山形市・山辺町・南陽市・白鷹町）

「県民の森」は、森林に親しみながら自然環境について学んだり、レクリエーション活動を行う場としてつくられました。「森林学習展示館」では、動物のはく製や森林のこを楽しく学べるパネルやジオラマ、木育コーナーがあります。広大な芝生広場が3か所あり、のびのびと遊ぶことができます。中央広場では、さまざまな木製遊具やアスレチックが楽しめるほか、周辺の大小の沼をまわる自然散策コースやキャンプ場もあります。

また森の工房「む・う・ぶ」では自然の素材をいかした木工クラフトを楽しむことができます。



森林での自然あそび



「む・う・ぶ」での木工クラフト



木育コーナー

最上地域の森林

森林がある市町村	森林面積	森林の割合
1市4町3村	14万4,000 ha	80%

最上地域の森林の特徴は、金山杉などの針葉樹の人工林が約3万8千ha、森林面積の26%を占め、県内で有数の林業地帯となっていることです。

人工林以外の森林として、周囲の鳥海山、月山、神室山など美しい山々にはブナやナラ類などの天然林も多く、巨木が多く残されていることでも知られています。なかでも戸沢村の「幻想の森」では樹齢1000年を超えると思われる天然スギが幻想的な空間を作っています。



幻想の森

大木で高品質な「金山杉」の産地（金山町）

金山町で育てられた樹齢80年以上のスギは「金山杉」とよばれ、江戸時代から続く高品質の木材として知られています。

これは、雪深く、長い冬の気候の中で育つために、成長がゆるやかで年輪が密で強い木材になるためです。

また、林業とともに、製材業や住宅産業も盛んなところです。



金山のスギ林「金山杉」



伐採した金山杉の大木

県内最大の「きのこ」産地

最上地域は、県内最大の「きのこ」産地で、県内生産量の60%を占めています。生産は鮭川村を中心に最上地域全域で行われており、県内生産量に占める割合は、「エノキタケ」が83%、「シイタケ（菌床）」が68%、「ブナシメジ」が71%、「ナメコ（菌床）」が51%となっています。

また、山菜の生産も盛んで、県内生産量に占める割合は、「ウルイ」が52%、「タラノメ」が58%となっています。



ブナシメジ



ヤマブシタケ



ウルイ

遊学の森（金山町）

「遊学の森」は、スギ林やブナ林に囲まれた里山の美しい森林公園で、冬を含め一年を通して、遊び、学ぶことができます。2002年には第53回全国植樹祭が、2014年には第38回全国育樹祭が開催されました。

ぶなのき広場、とちのき広場や散策路があり、森の先生である遊学の森の森の案内人と一緒に、春の山野草観察をはじめ、冬の「かんじき」をはいての自然観察や雪遊びなど、一年を通して様々な体験活動ができます。

また、中心となる「木もれび館」では、森林や自然についての学習や木工クラフト体験などができます。



森林教室（木の観察）



冬の森観察会



木工クラフト（はし作り）

おき たま ち いき 置賜地域の森林

森林がある市町村	森林面積	森林の割合
3市5町	19万 ha	77%

置賜地域は、最上川の源流部に位置し、ブナやナラ類などの天然林が多く、森林面積の7割以上を占めます。

里山には、マツタケが採れる松林が広がっています。奥山には、北西の朝日連峰や南西の飯豊連峰、南側の吾妻連峰の麓にはブナ林も広がっています。



白川湖から飯豊連峰を望む

小国町のマタギとブナ文化

小国町は、町土の94%を森林が占めており、そのうちの約76%がブナを中心とした天然林となっています。ブナの森は、木の実、山菜、きのこ、溪流にすむイワナなど、山の幸や川の幸を育てています。また、様々な動物たちが生息しているほか、雨水や雪どけ水をたくわえ、その水が川となり、地域一帯を潤しています。

小国町の人々は、古くからこの恵み豊かな森に入り、季節を身体で感じながら、森や自然とともに生きる生活の知恵を身につけてきました。町では、この独特の生活文化のことを「ブナ文化」と呼んでいます。また、狩猟をしながら生活する「マタギ」と呼ばれる人々がいました。町内の小玉川地区や五味沢地区には、今もこの「マタギ」の伝統を受け継ぐ人々がいます。



小玉川地区のマタギ

そうもくとう 草木塔

昔から人々は、身近な森林（里山）に入って、きのこや木の実・山菜などの食料や、燃料となるまきを集めたり、木を切って建築材にしたり、炭焼きをするなど森林と深くかかわって暮らしてきました。

県内には、写真のような「草木塔」や「草木供養塔」と呼ばれる石碑が多く見られます。これは、自然のきびしさをおそれ、その存在を大切に、森の恵みに感謝する人々の心を表すために建てられたものです。江戸時代までに建てられた古い草木塔は国内に35基が確認されており、その大部分の32基が山形県の置賜地方にあります。昭和・平成になってからは、全国各地に多くの草木塔が建てられています。

わたしたち山形県民には、草木塔に代表されるような「自然の恩恵に感謝する心」というすばらしい文化が、祖先から受け継がれています。



小国町のブナの天然林



現存する最古の草木塔
(米沢市大字入田沢字塩地平)

げんりゅう 源流の森（飯豊町）

飯豊町の白川に隣接する「源流の森」は、森の中で、憩い、学び、遊び、鍛えることのできる森林公園です。

中心となる「源流の森センター」には、森林と人とのかかわりを体感できる展示があります。

また、豊富な散策・学習コース、森の中での冒険プログラムが体験できる「冒険の森」や親子で楽しく木工工作や陶芸ができる「森のアトリエ」など、森林に親しめる施設があります。

源流の森の近くには、温泉、オートキャンプ場、観光わらび園などがあり、森林や自然のすばらしさをじかに体で感じ、楽しむことができます。



源流の森センター

庄内地域の森林

森林がある市町村	森林面積	森林の割合
2市2町	16万2,000 ha	67%

庄内地域の森林の特徴は、鳥海山、月山、朝日連峰等の山岳地帯の森林と、庄内砂丘に長く伸びる海岸林が庄内平野を取り囲んでいることです。これらの森林は、スギを中心とした人工林とナラ類を中心とした天然林に分けられます。また、鳥海山と月山の麓にはブナ林が広がっており、県内唯一の離島である飛島にはタブノキの植生を見ることができます。

林業においては、鶴岡市の田川地区や温海地区、酒田市の東部地区が昔から林業地帯として知られています。



庄内海岸林と鳥海山



飛島とタブノキ

「焼畑温海かぶ」と林業

鶴岡市温海地域では、昔からスギの伐採跡地を利用した焼畑農法で「かぶ」や「あずき」などの栽培が行われてきました。地元森林組合では、「温海かぶ」の栽培と、その販売収益を再生林の費用に充てることで、森林の若返り・循環を進めています。



焼畑の様子



温海かぶが植えられた斜面



温海かぶ

赤かぶ漬け

知ってる？『焼畑農法』

焼畑という言葉の通り、スギの伐採跡地に火を入れ、草木が灰になるまで焼き、火が収まったのち、種をまきます。「温海かぶ」の場合は、収穫後に新たにスギの苗が植えられ、森林は循環していきます。

「焼畑農業」、
「在来作物」について
調べてみよう！

庄内地域の木材振興

海と山に囲まれた庄内地域では独特の木の文化が育まれ、多くの民芸品が発展してきました。庄内地域で生産されている庄内あつみ杉や酒田杉はブランド化が進められており、建築用材としてだけでなく、伝統工芸品や日用品などに姿を変え、さまざまな場所で活用されています。



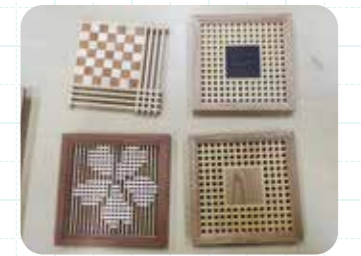
船筆筒



お猪口と徳利



酒田光丘彫とへら



鳥海組子

庄内あつみ杉を使った木工品



つみき



ベンチ



弁当箱とはし

眺海の森（酒田市）

「眺海の森」は、酒田市東部にある標高200～300mの丘陵地帯に造成された森林公園で、庄内平野と最上川、鳥海山などの雄大な山並みが一望できます。

「森林学習展示館」には、庄内地域の森林や生態系について学べるパネルや展示物、木育コーナーがあり、眺海の森で採取された材料を使った木工クラフトにも挑戦できます。公園内にはキャンプ場や遊歩道があり、「森の案内人」のガイドによる森林散策では、庄内の豊かな自然をより深く楽しむことができます。



学習展示館と鳥海山



森林散策の様子



木工クラフト教室の様子



木育コーナーの様子



庄内平野と最上川